

令和7年 11月 16日(日) 《午前》 「日本の近現代史③」

第14期Aコース研修生は、日本の近現代史について第3回目の研修を受けました。研修テーマは「グローバル化と日本～戦後の復興から現在まで～」及び「日本の近現代史を学んで～学びからのさらなる展望～」でした。

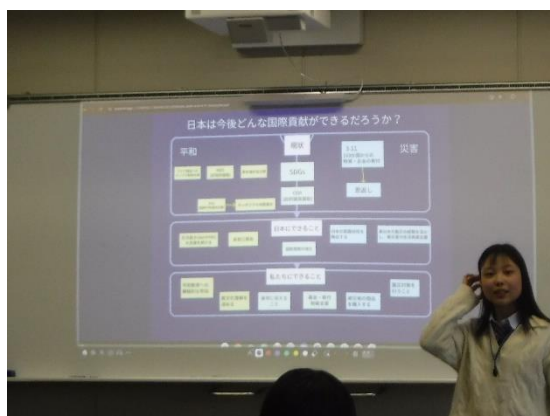
研修生は事前に講義動画をYouTubeで視聴し、事前課題の「第二次世界大戦後、経済成長をとげた我が国は日本国憲法の下、冷戦下及び冷戦後の国際社会において平和主義を掲げ、世界の諸課題の解決に取り組んできた。今後はどのように取り組んでいくのか。このことについて、留学した際に出会う人々からどのような「問い」が出されるのかを考えてみよう。」に取り組みました。

当日は小グループに分かれてロイロノートを活用しながら、各自が取り組んだ課題を発表し、協議を通して内容を深めました。ロイロノートとは、学校の授業等で使うクラウド型の授業支援アプリです。

更に各グループの協議内容を全体に発表し、質疑を通して第二次世界大戦後から現代に至る過程で起きた様々な課題について理解を一層深めました。

研修生が事前課題で取り上げた現代日本の課題には「戦後の紛争、戦争に対する日本の支援」、「戦後日本の平和主義と国際貢献」、「日本の平和実現の在り方」など多岐にわたり、いずれも重要なものばかりでした。

研修の最後には、これまでの3回の研修内容について各自が振り返り、それを振り返りシートに記入しました。更に、各自の振り返りをグループで発表しました。その内容には、「自国の歴史について更に考えを深めたい」、「日本の近現代史と現在の国際社会問題について、同年代の高校生とディスカッションできてよい学びになった。」など現代の社会に主体的に生きる者としての自覚が高まっている様子うかがえました。



令和7年 11月 16日(日) 《午後》 「ゼミナール③」

今回は、第2回ゼミナール研究で行ったゼミナール研究アウトラインの協議内容を踏まえて、各自が再検討した研究アウトラインをグループで発表し、協議しました。

その協議の前には、事前課題として、視聴したNHK for School “アクティブ10プロのプロセス” 第10回「分析のしかた」の動画についての振り返りを行いました。

本ゼミナール研究は次のように進められました。

- (1) 再検討した「研究アウトライン」及び「調査活動計画」に沿って一人ずつ発表
- (2) 発表に対してグループの全員が<問題点・疑問点>、<優れた点等>を指摘
- (3) 発表者は指摘を受けた問題点や疑問点について答え、グループ全員で改善点等について意見交換

この発表、協議を一人16分ずつ行いました。

研修生は、文献調査等が進んでいたことから、研究テーマが明確になり、研究仮説も磨かれていました。そのため、研究仮説を実証するアンケートやインタビュー調査の内容なども発表、協議できました。その結果、内容が充実したものになり、今後のゼミナール研究の深まりにつながりました。

研修の最後に記入した「ゼミナール研究振り返りシート」からは、今後の取組について、さらに調査をより具体的にして、実施していきたいという意欲が多く研修生から見ることができました。

